

「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」を一部改定するとともに
「中央公園プロムナード周辺のまちづくりビジョン」を新たに策定しました！
～プロムナードの歩道空間を広げ「ひと中心」の空間を作り出します～

千葉駅周辺の将来像や取り組みの方向性を示す「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン（平成28年策定）」（以下「グランドデザイン」という）の一部改定を行うとともに、「中央公園プロムナード周辺のまちづくりビジョン」（以下「まちづくりビジョン」という）を新たに策定しましたので、お知らせします。

1 千葉駅周辺の活性化グランドデザイン

（1）趣旨

千葉都心では、建築物の更新やそれに伴う高度利用、マンション開発の進行などにより、都市機能が変化し始めています。また、グランドデザインに位置づけ、先行実施してきた事業が一定程度進捗してきたことから、グランドデザインに示す将来像の実現に向けて次の段階へ進めていくため、一部改定を行います。

（2）改定のポイント

ア 千葉駅周辺全体の方向性は維持しつつ、中央公園プロムナードの再編を優先整備プログラムに位置づけるとともに、民間投資や観光消費の増加などを促すため、業務・商業機能の集積・強化の方向性を明示。

○千葉駅周辺全体の方向性

エリア間の機能分担・連携による魅力があり、多様な人々が集まりにぎわう、求心力のあるまち

○業務・商業機能の集積・強化の方向性

駅前商業・業務コアでの高度な土地利用や居住機能を周辺に誘導する考え方を示すとともに、業務機能の集積を目指す施策等により駅周辺の魅力を高める

イ エリアごとのまちづくりの方向性を見直し

○東エリア

中央公園プロムナード再編による「歩行者中心の緑の軸」の形成や交通結節機能の強化・改善を追加

○西エリア

JR千葉支社跡地周辺整備に市民会館等の導入、リノベーションまちづくりに関連する項目を追加

○北エリア

千葉公園通りの歩行者天国イベントである「ちこほこ」の取り組みを背景に、千葉公園通りのウォークアブル推進を追加

2 中央公園プロムナード周辺のまちづくりビジョン

(1) 趣旨

千葉市のメインストリートである中央公園プロムナードは、沿道に高経年建築物が多く、その建て替えがまちの将来像にとって重要な要素になると考えられるため、「中プロ・デザインラボ」での意見交換を踏まえ、将来ありたいまちの姿を描いた、まちづくりビジョンを新たに策定します。

(2) 策定のポイント

ア 将来ありたいまちの姿

現在の車道幅員を縮小することで、高質な緑の空間を基調とした多様な過ごし方を可能とする「ひと中心」の公共空間に再編します。



将来ありたいまちの姿(イメージ)

イ 将来像実現に向けた戦略

将来像である「公園のように過ごす みんなのプロムナード」を実現するため、「心惹かれる」、「賑わい潤う」、「安心安全清潔」の3つの視点から、5つの戦略を定め、検討を進めていきます。

- ・戦略①（場所性） 選びやすい、使いやすい場所づくり
- ・戦略②（機能性） 快適で質を高める機能の付加
- ・戦略③（経済活動） 事業・店舗が集まるマネタイズできる空間・活動づくり
- ・戦略④（景観・印象） みどりと明るさで安心する・心地よいエリアブランディング
- ・戦略⑤（移動・回遊） 来やすい・回遊しやすい歩行者中心の空間づくり

3 今後の予定

令和8年度

中央公園プロムナード再編に当たっての空間形成に関する具体的な計画として、「中プロ・デザインラボ」での意見交換や社会実験を通じて、再編の基本計画を策定

令和9年度以降

中央公園プロムナード再編に向けた社会実験と実証実験を通じて、再編に伴う活動を試行・推進

(社会実験) 再編後のひと中心の空間形成に向けた歩道の利活用について検証する実験

(実証実験) 車線の一部を規制して、周辺交通への影響を検証する実験

4 計画の公表

(1) 公表日

令和8年6月25日(木)

(2) 公表方法

ア 市ホームページで公開

(ア) 千葉駅周辺の活性化グランドデザインの一部改定

【URL】 https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/keikaku/chibaeki-gd_r8kaitei.html



(イ) 中央公園プロムナード周辺のまちづくりビジョンの策定

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/keikaku/chupro-vision.html>



イ 市内施設で閲覧

都市計画課(市役所低層棟4階)、行政資料室(市役所低層棟2階)、各図書館

<参考>

1 千葉駅周辺の活性化グランドデザインについて

社会経済情勢の変化と、千葉都心が今後果たすべき役割を踏まえ、千葉都心全体の将来像や取り組みの方向性を明確化するとともに、その実現に向けた優先順位を付けた整備プログラムを整理する必要があることから、平成28年に「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」を策定し、適宜改定を行っています。

グランドデザインでは、50年先をイメージして、概ね20年先の将来像を描いています。

2 中プロ・デザインラボについて

中央公園プロムナード周辺の将来像について、市民、事業者、大学、行政などが多様な視点や価値観で意見交換を行う場として、千葉市中心市街地まちづくり協議会および千葉大学とともに設立しました。これまでに7回のワークショップをはじめ、現地調査やシンポジウムを開催し、当該エリアの将来像について、検討・意見交換を行ってきました。

今後、中央プロムナードの再編に向けて、基本計画や社会実験・実証実験等について、意見交換する場として引き続き開催していきます。